

## 《「親の育ち」家庭教育講演会について》

日頃は幼稚園の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。新年度が始まり2ヶ月が経とうとしています。お天気の良い日はどろんこ遊びをしたり、ぴかぴか山で元気よく遊ぶ子どもたちです。さて、今回は家庭教育講演会のお知らせです。子育てについて悩んでいることはありませんか？保護者の方向けに、「親の育ち」家庭教育講演会として『～言葉掛けを見直してみませんか～』（添付資料参照）というテーマで講師の方に講演を行って頂きます。貴重な機会ですのでぜひご参加いただければと思います。

参加ご希望の方・託児保育をご利用される方は、下記の申込用紙にご記入の上6月20日(月)までにご提出下さい。また、在園児以外の方も参加できます。託児保育もありますので皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

講演テーマ 『～言葉掛けを見直してみませんか～』

日時 令和4年6月30日(木) 午前10時～

場所 飯野ひかり幼稚園 お遊戯室

駐車場 藤岡体育センターコミュニティー広場

..... き り と り .....

提出期限 6月20日(月)

《「親の育ち」家庭教育講演会》に申し込みます。

組 番 名 前

参加者名

参加者名

託児保育を申し込みます。

ふりがな  
お子様の名前

男・女(○をつけてください) \_\_\_\_\_ 歳

## II-5 言葉掛けを見直してみませんか

## エピソード

3歳の弘くんは、朝なかなか起きられません。お母さんは毎朝「さっさと起きて!服を着替えてご飯を食べなさい!保育園に遅れるでしょう?」と大きな声で起こします。

ある朝いつものようにようやく起きてきた弘くんは、なかなか身支度をしません。パジャマのまま台所のお母さんの足元で「お母さ〜ん…」と弱々しい声を出しています。

お母さんは「昨日の夜、一回起こされたら自分ですぐに着替えてご飯を食べるって、お母さんと約束したでしょ!あら!またおねしょ!おねしょしないってさんざん約束したじゃないの!なぜ約束を守れないの?」と、すぐに弘くんを大声で怒鳴って責めてしまいます。弘くんにはたくさん約束がありますが、なかなか守れません。



Work 1 どうして弘くんは約束を守れないのでしょうか。

Work 2 約束を守れないことに対して弘くんはどのように思っているのでしょうか。

## アトハイス

この「約束」は弘くんも納得し、弘くんが一人でちゃんと守れるレベルのものでしょうか。

ここでお母さんの言う「約束」とは、「指示・命令」に当たります。「約束」という言葉に置き換えることによって、弘くんに責任を負わせ、約束を守れない弘くんが悪いということにしてしまっています。こうした複雑なコミュニケーションは、子どもを混乱させます。





Work 3

あなたは普段、以下のような言葉掛けをしていませんか。  
a~fの中で子どもを混乱させる言葉掛けはどれでしょうか。

- a お母さんに言われてお手伝いするようではだめよ
- b お友だちとは誰とでも仲良くしなさい、でも〇〇くんには気をつけなさい
- c (転んだ子どもに対して) 痛くないよ、痛くないよね
- d おなか空いたでしょ、疲れたでしょ、眠いに決まってるよね
- e 弘くんがニンジン食べないって、お父さん怒ってたよ
- f そんなことをすると保育園の先生に叱られるよ



Work 4

子どもに対する言葉掛けで気付いたことを書きましょう。

資料

これらはすべて危険なコミュニケーションです。

Ⓐ ダブルバインド(二重拘束)・コミュニケーション: a b

矛盾する2つのメッセージが同時に命令・禁止の表現で語られることを言います。どちらの命令に従っても許されず、いわばT字路の両端のどちらにも進めない状態です。

Ⓑ 先取りコミュニケーション: c d

相手が自分で感じたり考えたりする一歩前に、相手の感覚や考え・行動を決め付けていってしまっています。

Ⓒ 責任転嫁のコミュニケーション: e f

話し手が自分の考えや感情を言わないで、代わりに他者の意見として伝えるものです。

いずれも日常的に意識せず使ってしまうがちな表現です。これらは子どもを巧妙にコントロールすることに非常に優れていますが、子どもの自立のために成長に応じてこうした表現を少なくしていかなければなりません。普段の子どもへの言葉かけを見直してみましょう。

[参考・引用: 田沢幸子「発達段階に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」金子文子刊]